

## 育児休業取得状況等報告書

### 【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社 gene
2 貴社の取組状況について	
<u>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景</u> 介護保険事業を行っている中で、4年くらいまえに利用者さんの幸福を真剣に考えたとき、スタッフひとりひとりの人生の充実が必要だと考え、男性の育休取得を促進するようになった。	
<u>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組</u> まず、副社長が2か月取得し、トップが示すことでスタッフが取得しやすい空気を作った。そして、育休取得に関して、スタッフひとりを取ったほうが絶対に得だからと伝えて、取るように促した。育休取得率の数字を公表し、取るのが当たり前だよという空気を作った。	
<u>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点</u> 介護保険事業においてスタッフの欠員補充が課題であったが、事業規模を拡大し、そして育休取得者が常にいるような状態にして、遊撃部隊を編成して補充に当てられるようにした。	
<u>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと</u> 人事評価制度の成果項目を個人ではなくチームとして業績を評価することにより、チームで考える課題だという認識をもってもらい、それぞれに少しずつ負担してもらい意識改革を実行した。	
<u>(5) 定着に向けて、さらに取り組んでいることがあれば教えてください。</u> オリジナル育休ブックの作成と公開。 女性版/男性版/上長版 を作成し取得する人に加え、部下や同僚が育休を取得した場合の配慮や対応についても記載をした。	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 28 日間
2 育児休業の取得について	
<u>(1) 育児休業を取得したきっかけ</u>	
第二子が生まれるにあたり、長女(2歳)の子守りが必要なため。	
<u>(2) 育児休業を取得して良かったこと</u>	
産まれてすぐの状態から育児に関われることが良かった。今回は有給と合わせ 2 ヶ月お休みをいただいたため、子供の成長を毎日感じる事が出来た。 事業所メンバーより、仕事に復帰しても以前と何も変わらず暖かく受け入れていただけた。	
<u>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点</u>	
・ご利用者様やケアマネ様へ育児休暇を伝えるタイミング 早すぎても遅すぎても混乱やご迷惑をかけてしまうため、約1ヶ月前にお伝えした。	
・前回、いつから復帰なのか、担当者は誰かなど口頭での説明とご自宅のカレンダーへの記載、訪問の記録ファイルに記載と対応を行ったが、うまく伝わっていないご利用者様がみえ、混乱を招いてしまった。 今回は、休みの期間、その間のスケジュールと担当者を用紙に記載し、その用紙を読み上げる形でご利用者様へお渡しした。代行の担当者もその用紙を見ることで同じ説明が出来るようにした。	
<u>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること</u>	
小児疾患の訪問の際、お母様と実際の育児についてお話が少しだけ出来るようになった。	
<u>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス</u>	
子供の成長に毎日 24 時間関われる幸せな機会なので、男性の方の取得は強くお勧めします！	